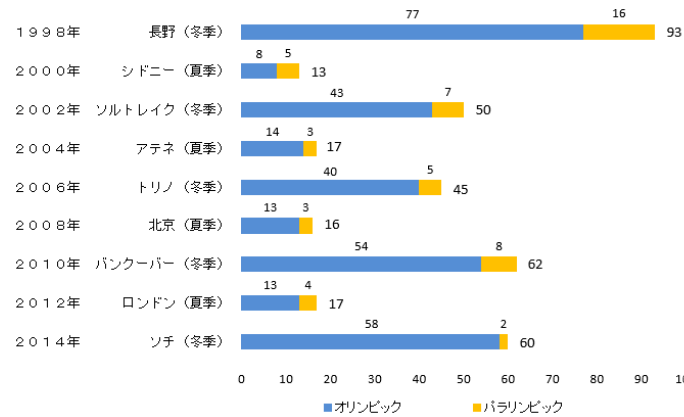
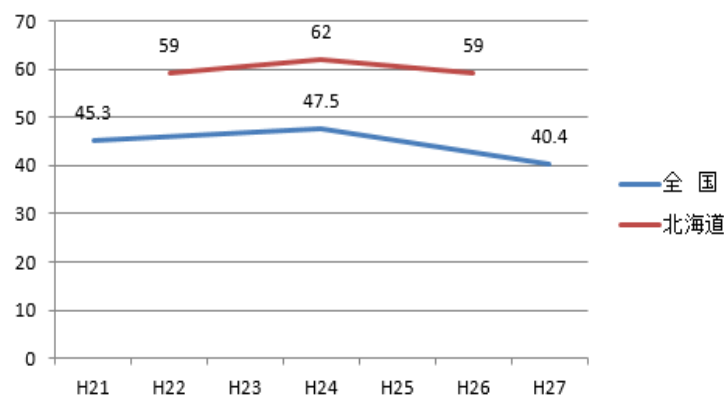


主なスポーツ関連指標

本道出身のオリンピック・パラリンピック出場選手の数



成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)



平成28年度の主な取組

北海道タレントアスリート発掘・育成事業(北海道TID事業)

＜北海道TID事業の概要＞

本道のタレント発掘・育成事業は、北海道の地域特性を生かした冬季競技をターゲットとし、各種目の能力開発プログラムを開発するとともに、小中学生の有望な選手を発掘・育成して、冬季スポーツ大会でのメダル獲得を目指します。

各競技ごと、道内を数カ所のブロックに分け、発掘・育成を行います。さらに、育成プログラムの品質の向上、及び指導者の資質向上等を目的として、定期的に集合プログラムを開催するほか、元オリンピック選手であるコーチが指導にあたります。

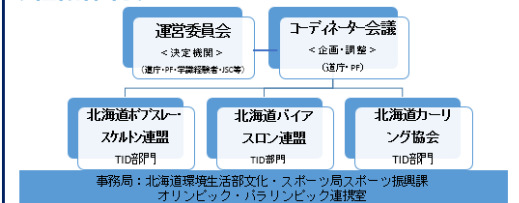
＜タレント発掘・育成事業とは＞

このプログラムは、競技経験の有無に関わらず、素質ある有望な選手を発掘し、組織的に育成する取組です。このタレント発掘・育成プログラムは、現在、国内では、福岡県をはじめ、11カ所の都道府県や地域が日本スポーツ振興センターと連携して、本事業を進めています。世界では、オーストラリア、イギリス、香港、ニュージーランド、中国、アメリカなど多くの国々においてこうしたプログラムが展開され、大きな成果をもたらしています。

＜北海道TID事業 競技種目＞

- カーリング
カーリングは、氷上のチェスとも言われる戦略性の高い競技です。最近では各国のレベルも上がってきており、技術とパワーが求められるようになってきています。
- スケルトン
スケルトンは、ボブスレー、リュージュと同じモーター競技で、長さ1300mから1500mの距離を滑走したタイムを競います。
- バイアスロン
バイアスロンは、クロスカントリースキーと射撃を組み合わせてタイムを競います。

＜組織体制＞



目標はナショナルチーム入り 育成期間は最長10年間

この事業は、カーリング、スケルトン、バイアスロンの3種目において、各種目における適性(成功する可能性)を見極め、有望なタレントを発掘・育成し、日本代表(ナショナルチーム)入りを目標とします。



スポーツの力で、北海道をもっと元気に！ 世界に羽ばたく人づくり、 スポーツで輝く地域づくりに取り組んでいます。



道が進める「スポーツ王国北海道」は、健康な体と豊かな心を育て、活力に満ちた北海道をつくっていく取り組みです。

スポーツを通じて北海道の魅力を発信し、みんながスポーツに親しめる環境を育てていきましょう。

優れたスポーツ環境は、北海道の大きな魅力

豊かな自然に恵まれた北海道では、冬のスポーツをはじめ、一年を通してさまざまなスポーツを楽しむことができます。

道は、スポーツの力で健康な体と豊かな心を育て、活力ある地域をつくってこうと「スポーツ王国北海道」の取り組みを進めています。

近年では、夏の過ごしやすさなどを求めて国内外からスポーツ合宿が増え、さまざまなチームが北海道へ強化練習のために訪れています。

2017冬季アジア札幌大会、さらに2018平昌冬季オリンピック・パラリンピック、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けては、選手の活躍はもちろん合宿候補地としても、北海道に寄せられる期待はますます高まっています。

こうしたトップスポーツの舞台で北海道が大きな役割を担っていくことは、国際的な交流や競技力の向上につながるだけでなく、道民が世界レベルのプレーを観戦してスポーツを身近に感じられる機会でもあります。

世界に羽ばたけ、道産子アスリート！

北海道出身のアスリートが国際大会などで活躍する姿は、道民に夢と感動を与えてくれます。そこで、道が進める「スポーツ王国北海道」では、世界で活躍で

きるトップアスリートの育成に取り組んでいます。

優れた選手や指導者などの育成をはじめ、将来を見すえ、子どもたちの指導にも力を注いでいます。

また、世界に通用するアスリートを育てるには、地域に根ざした身近なスポーツ環境が不可欠です。道では、地域の個性を生かした総合型地域スポーツクラブが全市町村に広がるよう、地域の取り組みを支援しています。

スポーツを通して、健やかな人づくり、地域づくりを

このように道では、スポーツを「する人」はもちろん、トップレベルの競技やプロスポーツ観戦などスポーツを「観る人」、指導者やスポーツボランティアなどスポーツを「支える人」にも着目した取り組みを進めています。

また、子どもの体力づくりは、健康の維持や学習意欲の向上などにも大きく関わっています。幼いころから日常的にスポーツに親しめるような環境づくりが必要です。

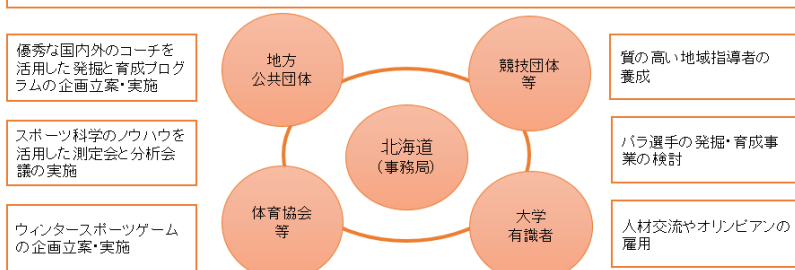
子どもから大人まで、どんな楽しみ方もできるのがスポーツの魅力。皆さんも、家庭や学校、地域でもっとスポーツに親しんでみませんか。スポーツを通じた人と地域の活力は、北海道全体の元気づくりにつながっていきます。

地域タレント発掘・育成コンソーシアム事業

○ タレント発掘・育成事業を実施している他県や道内市町村等とコンソーシアムを形成し、特にルディック競技に優れた素質を有する選手を発掘・育成し、国際大会で活躍できる選手まで引き上げる仕組みを構築する。

ウィンタースポーツコンソーシアム実行委員会

- 構成メンバー
北海道、名寄市、美深町、下川町、中川町、音威子府村、岩手県、秋田県、山形県、関係競技団体、大学、有識者等
- 事務局
北海道環境生活部文化・スポーツ振興課オリンピック・パラリンピック連携室
- 専門部会
プログラム開発部会/測定分析部会/パラTID・育成環境検討部会



ナショナルレベルの選手への引き上げ/2026オリパラへの選手輩出

【北海道スポーツ推進計画】

第1章 学校と家庭・地域における子どもの運動・スポーツ機会の推進

- 1 学校における体力・運動能力の向上
- 2 学校体育に関する活動の充実
- 3 スポーツ少年団体等の活動の充実
- 4 保護者に対する運動、スポーツの必要性についての普及啓発

○学校スポーツ振興事業

運動部活動における各種大会等の教員引率旅費の措置、全道大会開催費の助成

○スポーツエキスパート活用事業

高等学校の運動部活動等及び中学校の武道必須化に伴う外部指導者の派遣

○学校体育実技講習会

体育実技内容の実践研究及び体育事業の充実のための講習会の開催

○子どもの体力向上推進事業

運動部活動等推進委員会の設置及び中・高等学校の運動部活動における指導充実

○子どもの体力向上パワーアップ事業

大学教授による体育授業改善の推進及び体力向上に係る市町村の取組への支援など

○放課後子供教室

放課後や週末等の安全・安心な活動拠点づくり及び学習や体験活動の提供など

○地域スポーツ支援事業

地域の指導者等を対象とした講習会や地域への派遣を実施

○スポーツ団体活動費補助金

北海道体育協会が行う、指導員養成やスポーツ少年団の育成事業などに助成

○スポーツチャレンジ教室

道内出身選手を講師に、小学生を対象とした体験型教室を開催

○ペアレンツスクール

スポーツ選手を講師に、保護者を対象とした講習会を開催



葛西紀明選手のチャレンジ教室

・平成26年10月19日(日)
・札幌市荒井山シャングエ
・参加者 85名



福島千里選手のチャレンジ教室

・平成27年9月12日(土)
・札幌市厚別公園競技場
・参加者 親子131名



ペアレンツスクール

・平成28年1月23日(土)
・北海道立青少年体験活動支援施設
・ネイバル深川
・参加者 22名
・講師 成田 郁久美(旧姓 大懸)

第3章 若者から高齢者までのライフステージに応じた地域スポーツ活動の推進

- 1 地域の特徴を活かしたスポーツ活動の促進
- 2 高齢者や障がいのある方のスポーツ体験活動などの普及・啓発
- 3 スポーツ関係団体等との連携・協働

○明るい長寿社会づくり推進事業

全道高齢者スポーツ大会等開催経費及び全国健康福祉祭への助成

○障がい者スポーツ振興費

障がい者スポーツ大会等及び全国大会への選手派遣等に対する助成

○北海道アウトドア活動振興環境整備事業

北海道アウトドア資格制度の運営及び人材の育成

○地域スポーツ支援事業(再掲)

地域の指導者等を対象とした講習会や地域への派遣を実施

□スポーツ大会への後援・出賞等

□スポーツの推進に貢献した方への表彰(北海道スポーツ賞)

□優れた成績を収めた選手への顕彰(荣誉賞、北海道スポーツ賞)



はまなす車いすマラソン

第2章 世界舞台で活躍する競技者の育成

- 1 競技力向上に向けた戦略的な選手強化及び指導者の充実
- 2 本道におけるスポーツ界の好循環の創設
- 3 国際レベルの競技会等の開催
- 4 プロスポーツ等との交流の促進

○タレントアスリート発掘・育成事業

小中学生から有望選手を発掘し、育成(スケルトン、バイアスロン、カーリング)

○冬季ジュニアアスリート強化・育成

競技団体が実施する強化合宿(冬季競技7種目)に助成

○地域タレント発掘・育成コンソーシアム

東北3県等と連携し、中高生を対象とした競技会、国内キャンプ等を実施

○女性アスリート育成・支援プロジェクト

国内外の女子ラグビーチームによる国際交流大会等を実施

○北海道スポーツコミッション事業

国外への合宿候補地PRやスポーツボランティア養成講座等を実施

○アスリートキャリア形成事業

元オリンピックを雇用し、道の企画運営等に活用

○国民体育大会派遣費補助金

国民体育大会への北海道選手団派遣事業に対し、助成

○スポーツ競技力向上推進費補助金

北海道体育協会が行う選手強化事業(強化合宿等)等に助成

○北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費

韓国選手の受入、日本選手の派遣の相互交流を実施

○アジア競技大会開催費補助金

第8回アジア冬季競技大会の開催費用に助成

○アジア冬季競技大会を活用した北海道観光推進事業

大会組織委員会が行う観光関連の取組に助成

○地域づくり推進事業

市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業への助成

○スポーツ団体活動費補助金(再掲)

北海道体育協会が行う、指導員養成やスポーツ少年団の育成事業などに助成

□優れた成績を収めた選手への顕彰(荣誉賞、北海道スポーツ賞)

□ホストタウンの取り組みを行う市町村への支援【内閣官房】



タレントアスリート



第4章 道民が自ら進んで参画するスポーツ環境の充実

- 1 スポーツ指導者の充実
- 2 地域住民が主体となったスポーツ環境の充実
- 3 スポーツ施設の有効活用

○総合体育センター管理運営費

北海きたえーるの指定管理業務に要する負担金

○北見体育センター管理運営費・施設建設費

指定管理業務に要する負担金及び設備改修工事に要する経費

○札幌ドーム整備費補助金

建設費の一部に助成(H43までの起債償還金を対象:総額100億円を限度)

○広域拠点スポーツ施設整備費補助金

湿原の風アリーナ(釧路市)、明治北海道十勝オーバル(帯広市)の建設費に助成

[起債償還金を対象(釧路:H35まで、帯広:H41まで)]

○地域スポーツ支援事業(再掲)

地域の指導者等を対象とした講習会や地域への派遣を実施



北海きたえーる

